

平成 29 年度 第 2 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 29 年 10 月 4 日 (水) 午後 2 時 10 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者 (委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
本間和典	委員	畠宏一郎	委員
足立安夫	委員	中辻剛	委員
中村辰雄	委員	大谷健太郎	委員 [代理]
石田光	委員	黒坂公晶	委員
竹内崇訓	委員	永井正伸	委員
近藤俊幸	委員	長田貴	委員
駒谷誠	委員		

委員 15 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい
(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰男

4 欠席者 中澤秀明 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 路線バスの利用増進の取り組みについて

(3) 「てくてく たんば」 平成 29 年 10 月号の発行について

(4) その他

4) 閉 会

(事務局長)

只今から、平成 29 年度第 2 回の丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席を頂きまして有難うございます。本日、公益財団法人兵庫県バス協会専務理事の中澤秀明様につきましては、欠席のご連絡を受けております。また、丹波市自治会長会会長の大野亮祐様におかれましては、次の会議出席のため退席されておりますので、ご報告をさせていただきます。

それでは以降の進行につきましては会長にお渡しを致します。どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

皆さんこんにちは。会議を始めたいと思います。本日もよろしくお願い致します。

8月に学会で高齢ドライバーの運転についてのシンポジウムを開催しました。いろんな先生方の意見を聞き、高齢者が運転することは悪いことではない、事故を起こす人もいるけれども起こさない人もいるのだから、全てが全て免許を返納してもらえばいいという話ではないということがすごく良く分かりました。私も研究をしていてそのことは分かっています。それと同時に代わりの手段となるタクシーやバス等の公共交通がすごく大事であると思うので、どのように意見が展開されてどのような結果になるのかと思いながら進めていました。コミュニティーバスもうまく運用すれば75歳以上の方のご利用が増えたとか、タクシーもこれからの町の有り方を考えるとまだまだ役に立てるところがあるとか、そんな元気が出るような話がありました。また最近では、車イスが乗りやすくなるようなユニバーサルデザインの車両の導入が増えている状況の中で、丹波市も柏原駅がバリアフリーな感じになり嬉しく思っています。やはりこれからは、社会の整備もバリアフリーを考えた交通手段に合わせていくと思うので、丹波市のデマンドも紹介させていただきました。デマンドが高齢期の生活を支える乗り物となり、高齢者の方々が外出する機会が増えるのはすごく大事であるということが、このような会議の場だけではなく、もっと広く一般に認知されるためには、デマンドの運営に関して新しい方針も考えなくてはいけないのかなと思いつつ話が終わりました。ただ最近では、運転手の担い手が少なくなってきたとか、福祉関係の輸送の枠組みがその時々で色々と解釈が変わっていくという状況もあり、かなり情報を精査して整理しながら運営していかないといけないという感覚もすごくあります。そういう意味では、この会議等でデマンドの日々の運行状況を把握して、丹波の町づくりをも含めて考えていかないと段々立ち行かなくなっていくのではないかと考えています。やはりデマンドを一つとっても、単体で見ると相当な費用が掛かりますので、その効果をどこに見出すのかを意識して、将来像をどう考えていくのかということ、いつも心の隅において進めて行ければ良いと思いますのでよろしくお願い致します。

それでは、報告事項の前に、こちらのバスの車内装飾のポスターをご覧ください。前回は夏の花火の模様でしたが、早いもので秋の紅葉の模様に替わりました。これからは気候が良くて移動のハイシーズンですね。買い物や通院等の日常生活の外出だけではなく、何かの会合に行って皆でワイワイ楽しんでというように、レジャー面でもデマンドがお手伝い出来るところもあるのかなと思っていますので、そのような話があれば聞かせて頂きた

いと思います。

それでは報告事項ということで、まずはデマンド交通の状況分析について事務局から説明をお願いします。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙1～別紙3]

(会長)

有難うございます。大分繋がりがよくなっているという印象ですね。今の資料につきまして何か確認事項等ありますか。

(委員)

登録状況の内訳についての質問です。死亡者数が117人という少なくはない数に対して、新規登録者数が119人ですが、毎年同程度の新規の方がおられるのですか。それから、死亡者数とほぼ同数の新規登録者がおられる訳ですが、これは各世帯等にパンフレット等で情報が周知されている効果なのかどうなのか。新規登録の119人という数は非常に多いと思いますので、その辺を確認したいです。

(事務局)

最近の登録につきましては、例えば、引越し時に登録される方、今までは運転をしていたけれども加齢等で体調が良くない時もあるので一応登録をしておくという方、ご近所のご利用者から話を聞いて登録される方、同様にご近所同士で一緒に買い物に行かれた話を聞いて、私もお仲間ということで登録をされるような方等もおられます。また最近では、民生委員さんを通じての登録も増えています。どちらかと言いますと、今までお使いにならなかった方が追加で登録されているような状況です。世帯全員で登録される数よりも、私も登録しておこうというような個人での登録が多いように感じております。

(会長)

有難うございます。民生委員さんや自治会長さんはもとより、地域の何らかのインフォーマルな役割を持った方による広報等も功を奏していると考えられる訳ですね。

(事務局)

そうですね。民生委員さんにつきましては、各支所がそれぞれの地域の民生委員さんとの会議を持つ中で、例えば「てくてくたんば」をお配り頂いて、デマンドのPRをして頂いています。詳細については都市住宅課に問合せをお願いしている形ですけれども、新規登録の一つの要因かなと考えております。

(会長)

有難うございます。今のお話から、やはり口コミがかなり効いているのが良く分かりま

すね。ご近所さん同士の繋がりから出てくるとか、民生委員さんを通じて出てくるとか、運転免許証を返納された時に出てくるとか、それから、丹波市に転入された方にこんな交通手段があるんですよとお知らせをしたりとか。役所が一体になって、特に福祉部局と絡みあっていくと、段々そのロコミが増えてくるのかなと思います。最近、少し利用が減ってきている傾向もあるようなので、新規登録をロコミ等で増やしていく事と、既に登録されている方の利用回数が増えるようにする事等の複数の戦略が必要だと思います。それについてはまた色々と事務局と戦略会議を開きたいと思いますが、皆さんのご協力がないと出来るはずがありませんので、是非ご意見等を頂ければ有難いです。

それでは、その他に何かありますか。利用者数を見るとそろそろ20万人に達成しそうですが、予想としてはいつ頃になりそうですか。

(事務局)

別紙2の最終頁に今までの総利用者数を記載しており、9月末現在で197,225名です。あと2,775名という数字になっておりますが、別紙3を見て頂くと、多い時では月に2,700人以上のご利用がありますので、予想通りに行けば、この10月末か11月中、遅くても年内には確実に20万人に達するのではと考えております。それと、昨年度に3名の方が該当されたご利用1,000回達成についてですが、今年度8月末の時点で新たに4名の方が1,000回を超えるご利用を頂いておりますので、20万人達成の方と併せて昨年同様に記念式典的なものを出来ればと考えております。

(会長)

有難うございます。次の会議の開催時に記念式典の見込みということでよろしくお願ひします。デマンド交通の状況分析については以上でよろしいですか。

それでは次に、路線バス利用増進の取り組みについて事務局から説明をお願いします。

[路線バスの利用増進の取り組みについて説明]

(会長)

有難うございます。これにつきまして何か確認事項等ありますか。よろしいですか。では、グリーンバスさんから何か補足があればお願いします。

(委員)

それでは、現場の利用状況等につきまして、篠山営業所長から申し上げます。

(篠山営業所長)

上期が終わり利用状況について前年と比較したところ、現金の利用が少し減っている一方で、ICカードの利用が増えており、全体としては前年と同程度かなと思っております。今後の対策としましては、やはりお客様が利用しやすい時間帯を模索していく努力等を続

けて、何とか現状維持を続けたいと思っております。

(会長)

有難うございます。今後の展開としては、特に柏原病院のアクセス関係とか色々出て来ると思いますので、うまく設計して行かないといけない部分があると思えます。IC カードの利用がかなり増えているのは嬉しいですね。

(委員)

そうですね。神姫バスのニコパ、JR のイコカとか私鉄系のピタパがありますが、毎月伸びている状況ですね。ですから現金のお客さんが IC カードの方に代わっているケースが多いのかなという見方をしております。

(会長)

話はそれますが、JR の IC カードの導入はどうですかね。まだですか。ノンストップでイコカでも神姫バスに乗ってみたいな話が出るか。JR の方はまだ IC 化は当面ないですかね。今のところ柏原はまだ切符でやり取りしないとイケなくてね。あれが出来るとまた局面が変わるのかなあと。

(委員)

私の地元の播但線の方は、去年の3月頃に、加古川線と同時期に IC カードになりました。順次やって行くんでしょうけど。

(会長)

もし良ければ、IC カードでバスの利用が増えたかどうかを調べて頂けると面白いですね。

(委員)

利用料金についてはわかるのですが、利用者数についても、またいつか調べられたらと思います。

(会長)

有難うございます。またよろしく申し上げます。バスについては以上でよろしいですか。それでは次に、「てくてくたんば」の発行について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

「てくてくたんば」の10月発行については、グリーンバスはダイヤ改正がなく、JR は10月の中旬以降のダイヤ改正になると聞いておりますので、今の時点で委員の皆様にお示し出来る物は出来上がっておりません。なお、変更点としましては、「てくてくたんば」をデマンド登録世帯に郵送する際には、今までは丹波市の封筒を使っていたのですが、中身が分からないという話もありますので、今回からは透明の封筒を使用して、一目で「てくてくたんば」が分かるようにして郵送したいと考えております。委員の皆様にも、冊子が

出来ましたらこの形でお送りしたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

(会長)

パッと見て「てくてくたんば」が届いたと分かるほうが絶対いいので、その変更は是非お願いしたいと思います。

最近の「てくてくたんば」は、いろいろと情報の更新もしていますね。デマンドについては8時便、午後便のご利用が少ない件は宿題として残っていますね。バスについては分かりやすい情報が結構載っていると思います。タクシーも連絡先が記載されていますし、地域の総合的な交通雑誌の様になってきたのではないかと思います。更にいろいろな所に設置して頂けるように、折に触れ協力をお願いしていければと思いますのでよろしくお願い致します。この件については以上でよろしいですか。

それでは、4番目のその他の前に、お手元にタクシーの利用状況の資料をお配りしていますので、事務局とタクシー事業者さんから説明をして頂きたいと思います。

(事務局)

資料の説明をさせていただきます。現在実施しているデマンド等の事業の検証業務をする中で、デマンド会を通じて、県のタクシー協会にお願いをしていた利用状況の資料の提供がありました。一昨日の三者会議で、デマンド会さんの承諾を頂きましたので、本日お配りさせて頂いております。丹波市と兵庫県を比較した資料ですけれども、丹波市に関しては、やはりデマンドが運行を開始した平成22年度から23年度の落込みが12%位と結構大きくなっていますが、平成20年から昨年28年までの変動率を見ますと、兵庫県は68%、丹波市は68.3%となっており、県と大きくは変わらないという状況です。デマンド会さんとお話する中では、デマンドが始まって、最初はやはりタクシーのご利用も減ったけれども、デマンドが動けばタクシーも動く、デマンドが休みの日にタクシーがすごく動くかといえどもそうでもないというような状況もあり、デマンドとタクシーの相乗効果が出ているような部分もあるので、現在はタクシーだけでなく公共交通の利用状況が減っている状況ではあるけれども、デマンドも含めてタクシーも一緒にご利用頂けたらというようなお話もありました。

(会長)

有難うございます。相乗効果という言葉がすごく印象的です。確かにデマンド開始時にがたんと減っていますけれども、平成28年までの低下率で見ると、県と比較しても同じような数字なので、これはうれしい話だと思います。実績表の数字は単位が人なので、例えば3人で乗ったらカウントが3、4人で乗ったら4でよろしいですかね。何でこんなこと聞くかと言えば、最近いろんな所で、デマンドは乗合いだけでも、タクシーは相乗りをもっとしてもらおうようにすればいいのではという話を聞きます。例えば、お友達同士で相乗りして4人で買い物に行くとか、そういう利用方法が丹波でも出来てきています。これはデマンドのオペレーターさんがタクシーの方が安いからと言ってそちらの方を勧められることもあるということで、少なからずデマンドの効果、相乗効果がまさにそこにあるのかなと思います。これを盛り上げていくと、タクシーももう少しいい感じになってくる

のかなと思います。その辺はこれから工夫が求められるところだと思いますので、また良いアイデアを出していければと思います。これについて、タクシー事業者の委員の方々から現況を補足頂けると有難いですが如何ですか。

(委員)

今の事務局の説明で、丹波市と兵庫県が同じ様に減っているという話ではありましたが、デマンドが運行を開始した平成 22 年と 28 年を比較すると、県が 19%の減少、丹波市が 28%の減少となっています。デマンド会で相乗効果という話があったのかも分かりませんが、私が傍から見ている限りでは、相乗効果という点はまずないと思います。やはり、デマンド交通が発展すればタクシー業界が少ししぼんでいくという現状で、長野県や栃木県ではデマンド交通の影響で会社が倒産したという事例もあります。私共としては、もっと別の方向で考えて企業努力をして行かなくてはいけないと思っております。

それから以前もお話しましたが、5年が経過した時点でデマンドの運営方法を一度見直そうという話がありまして、やはり契約内容の面においても考えて頂いて、早急に見直して頂きたいというのが私共の考えです。

(委員)

タクシー部会です。今言われた通りなのですが、他府県から見学に来られた他社の方に金額表を見せると、これで良くやっていけるなあという話も聞きます。

皆が大変苦しい中、それを抑えて今までやってきましたが、5年以上も経ちましたし、幾らか金額的な見直しも考えていってもらわないと持続が難しくなっている様などころもありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(会長)

なかなか厳しいご意見ですね。やはり現状を鑑みると、それがタクシー業界の実状だと肝に銘じて、これからの設計を考えて行かないといけないというお話だと思います。デマンドの見直しをどのような形で進めて行くかというイメージ作りが必要ですね。交通会議の中でやるのか、ある種のワーキングを作ってやるのか。それから、蓄積されたデータがありますから、それをしっかり見ながら設計を考えていくことも可能になりました。運行当初は、事前に調査をして、各地区を回って説明・啓発をしてという所から、手探り状態でスタートをしましたが、今では毎日多くのご利用があり、一日 200 人程のご利用がある日も増えてきました。次の一步を踏み出す設計をしなくてはいけない段階に来たのではないかと、時々事務局とも話をしております。これについては今日意見を聞いても出て来ないと思います。今年度中位にはある程度イメージを固めて、そして今データ検証の業務を委託しているということなので、来年度の当初にデータを分析することで色んな形が見えて来るので、それを踏まえて来年の検討を進めるというイメージなのかなと思いますけどうですか。

(事務局)

現在データ検証等の業務を実施しており、業務期間は来年度の 1 月末までです。出来れ

ば20万人の記念式典の会議の時にでも、その時点での何らかの資料がお示し出来たらとは考えております。ただ、今後の方向性の話に関しましては、委員の皆様からもご意見を頂きながら、また、市が抱えている課題等も含めて検討していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

(会長)

丹波市としては、町づくりの一環の中でのデマンドという位置付けが絶対あると思えます。そして交通業者は交通業者で、やはりある程度の死活問題になる可能性もある訳です。その辺の調整を交通会議でしなくてははいけないのですが、最近は確認事項が主になっていましたから、本当にこれからどうするのかということを考えなくてははいけませんね。一度しっかりと意見出しをして、皆で共有して、そこからの一步をどう考えるかというところをじっくりとやっていかななくてははいけないのかなと思います。急にやっても拗れるだけというのは、町づくりの現場に良くありますので、まず共有すること、これから始めていければ良いのではと思います。それまでにちょっと時間がありますので、タクシー協会さんもまたしっかりとデータを出して頂いて、その状況の分析や、これからのタクシーサービスとして何が出来るのかを考えるのも非常に大事だと思います。例えば、家の前までちゃんと荷物を運んであげているというドライバーさんもいらっしゃいますので、そういう個別のサービスを正式なサービスに出来るようにするとか。それからやはりタクシーは高いと思われるから、高くなくすには値段を下げる話もありますが、市と共同して、相乗り等の利用方法をモデルスタイルとして提案していくとか、そのような方法もあると思えます。他の自治体でも、デマンドの運行までは実現しないけれども、まずは相乗りから始めようというような制度もあります。実は市も、デマンドの運営は費用が嵩むとか、交付金の関係とか、今後も車両の更新等もありますから、悩んでいる部分がすごくあるはずなんです。ですから、お互いの状況を共有しながら、少しずつかもしれないですけど話を進展させていければと思いますので、現状に耐えて頂きながらですけど、よろしくお願いしたいと思います。

今日は確認事項と今後の課題ばかり出てきて、これからどうするのかという宿題がいっぱいありますが、今のところは以上でよろしいですか。

それでは、各委員さんからの情報を共有していきたいと思っておりますので、何か最新の情報等がありましたら教えてください。

(委員)

神戸運輸監理部です。特段新しい話はありませんが、先程の福祉有償運送の件に戻りませうけれども、更新事項について協議が調ったということで、こちらとしては繋ぎ目がない様な形で更新の手続きを行って参りたいと思えます。

丹波市地域公共交通会議においては、今回は確認事項という形だけでしたけれども、路線の再編と延長等がありましたら、交通会議に諮って頂いて、その承認が得られれば、こちらとしては申請の処理をしていくという形ですので、よろしくお願い致します。

また、先程のお話にあったデマンドのデータの検討の部分で、ワーキング等が実施されるのならば、そういう所にも参画させて頂きたいと思っておりますので、引き続きよろしく

お願い致します。

(委員)

丹波県民局としましては、地域交通ということで丹波市、篠山市の両方を見ながら、今ありましたタクシーの話とか、路線バス、JR鉄道も含めて、当然のことながら人口がどんどん減って行く中ではありますが、如何にその地域にあった使いやすい交通の有り方、工夫が出来るかということで、県の方も先進事例等の色んな情報交換をして、行政間で市と一緒に話をしながら導入出来るものがないかとか、その様なことも模索しております。今後もまた一緒になって考えて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(委員)

警察署では、半期毎にある警察協議会で識者の方にお集まり頂きまして、警察署に対する意見等を頂戴致します。その中でもよく耳にするのが、丹波市内の運転免許証を返納された方が、その後はデマンドタクシーで移動したいという話をよく聞きますよということです。市民の方のデマンドタクシーに対する期待というのは非常に大きいものがあるということは痛感しております。今日いろいろと課題は出ましたけれども、市民の方の期待は非常に大きいですので、継続して発展させて頂ければと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(会長)

利用者代表の委員の方々から何かありますか。よろしいですか。

では、これからスキーシーズンを迎えるにあたり神姫グリーンバスさんからお話がありますので、よろしくお願い致します。

(委員)

神姫グリーンバスです。お手元に峰山高原リゾートというチラシをお配りしております。丹波市関連ではなくて申し訳ないのですが、神姫グリーンバスの本社所在地であります兵庫県神崎郡神河町におきまして、12月16日に峰山高原リゾートスキー場が新設オープン致します。このスキー場は神河町が事業主体で、マックアースというスキー場運営会社が指定管理という形で運営を請け負い展開を進めて行く予定です。裏面にゲレンデの設計図等が載っていますが、このような形で只今工事が進んでおります。裏面の左下にJR寺前駅よりシャトルバスで約30分と記載がありますが、グリーンバスとしましては、この寺前駅から路線バスとして、1日に行きが5便、帰りが6便程度をスキーの期間中毎日運行する予定です。険しい坂道もあり、安全面には非常に気を付けなくては行けない所ですが、グリーンバス本社の地元でこういったイベントといいますかスキー場が開設することでお知らせをさせて頂きました。どうも有難うございました。

(会長)

有難うございます。最近の若い人は免許を持っていない方も多いですから、スキーに行くにもこういう交通アクセスが大事だなと思いつつ聞いていました。町おこしの中で何

かが出来たら、必ずそのアクセスを考えるという話ですので、丹波市にも色んな所がありますし、今日の会議で出た話や墓園とかもありますし、移動する人々のために、車だけではなく色んな交通アクセスを考えなくてはいけない、多分そんな時代なのかなと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

では、4番のその他について、先程20万人達成の話には触れましたので、その他に何かありますか。

(事務局)

今回の開催ですが、11月位には20万人に達すると思われまますので、年内に記念式典を兼ねた第3回目の会議を開けたらと考えております。その時点で、例えばデータ分析に係る業務に関する成果的なものとかが、グリーンバスさんからの新病院への路線案等をお示し出来る様な状況でしたら報告させて頂きたいと思ひます。それが次の機会になるようでしたら、3月の「てくてくたんば」の発行の時に会議をお世話になると思ひますので、その時にご報告させて頂ければと考えておりますのでよろしくお願ひ致します。日程につきましては会長さんと調整をして、改めてご案内をさせて頂きたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

(会長)

有難うございます。他に全体を通して何かありますか。よろしいですか。

前半の福祉有償運送の会議では、福祉施設がデイサービスをしながら福祉有償もするという、都市部ではないような形態の案件でしたが、例えばタクシー会社もデマンドとタクシーを運行しているとか、一人がいろんなことをこなす時代に差し掛かって来ているように感じます。そういう意味では、役所も役所だけが頑張るのではなくて、どれくらい連携出来るかということが大事になってくると思ひます。今後は高齢化が進展していきますから、今回の福祉有償運送の件のように、要介護の方の輸送をするというような交通手段も充実させなければいけないという岐路に差し掛かっているのかなと思ひます。デマンドがその一端を担っているのはすごく有難いと思ひますし、いろんな施策の中できめ細かい対応をどう取っていくのかが大事だと思ひます。しかし、経費の問題や、各方面と棲み分けをしなくてはいけない部分もあるので、簡単に出来る話でもないのかもしれない。議論をしながら進めて行くような場作りが必要ですので、何かご提案あれば受けたいと思ひます。市の方でも、新しい設計をどう考えていくかという話になるかと思ひますので、大変かもしれませんが、引き続き皆の力でこれを乗り切って行こうということで、今日は終わりにしたいと思ひます。有難うございました。

(事務局長)

委員の皆様には長時間に渡り審議を頂きまして有難うございました。先程も言いましたように、次回はデマンドの利用者20万人達成、利用回数1,000回達成の記念式典も計画しておりますので、今後ともよろしくお願ひを致します。以上で本日の会議を終了とさせて頂きます。どうも有難うございました。気を付けてお帰りください。